

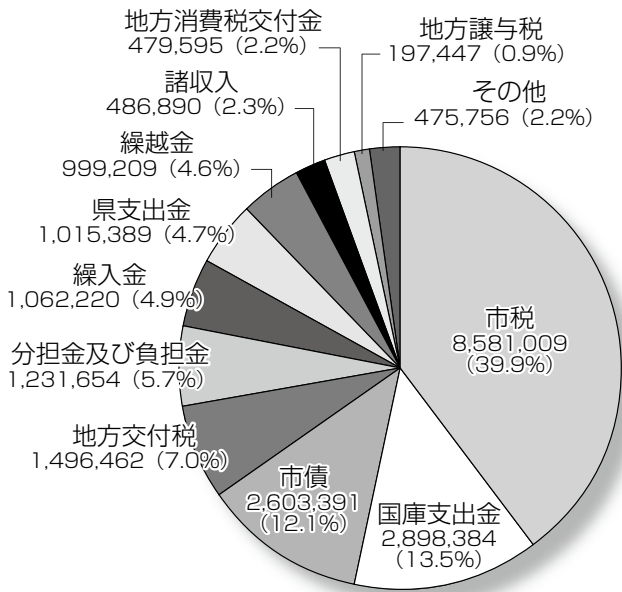
平成22年度一般会計歳入歳出決算

歳入	
収入済額	21,527,406,971円
歳出	
支出済額	20,446,516,240円

《歳出の主な事業》

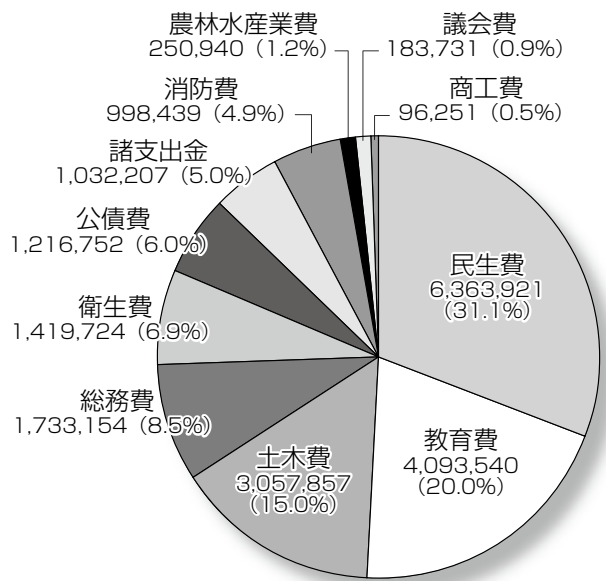
- 子ども手当支給事業 14億1,401万9千円
- 武蔵野操車場跡地及び周辺地区整備事業 9億6,232万1千円
- 学校施設整備事業(小学校) 20億375万5千円

【歳入】



【歳出】

※単位：千円（ ）は構成比



* 討論の要旨は討論者が要約しています。

反対討論

日本共産党吉川市議員団

遠藤 義法

平成22年度一般会計決算は、10億円を超える赤字である。厳しい吉川市の財政運営とは違うのが第一番目の特徴です。

市民要望である病児・病後児保育、学校施設の耐震補強大規模改修、第2フレンドパークの開設と障がい児者のデイサービスや通園のための送迎事業、日中一時支援の実施など評価いたします。

反対理由の第一番目は、都市計画税が導入されて2年目、7事業に4億5千万円余を活用したと説明していますが、これらはそれぞれの事業費に振り分けたものであり、都市計画税で浮いた財源を身近な道路補修工事等環境整備費を増額して市民負担を還元する姿勢が大事ですが、導入前の平成20年度決算額と何ら変わりません。

反対理由の2点目は、商工業者を取り巻く深刻な状況が続く中で、市民に喜ばれ、仕事確保に有効な住宅リフォーム

△助成制度など積極的な商工対策が行われていません。

3点目は、市職員のやる気を引き出す市幹部の真価が問われています。職員の企画立案能力が弱く、構造改革路線、行財政改革推進のなかで職員の意識が萎縮しているのではないかと。

市民意識調査結果を見ても各施策の重要度、要望はそれぞれ高まっていますが、満足度、評価は現状維持がほとんどです。職員が真に積極的な政策立案と市民要望施策実行できる職場環境を求めます。

賛成討論

自由民主党吉川市議員団

山崎 勝他

平成22年度の決算額は、前年度と比較いたしますと、歳入総額は、約16億2千万円の増で、歳出総額は、約15億4千万円の増となっています。歳入は、美南小学校用地の財源の借入を行うなど、市債が約11億8千万円の増、分担金及び負担金が約3億3千万円増加しています。反面、定額給付金補助金がなくなることから国庫支出金